

Ver.5.14 バージョンアップ情報(2017/02/08)

LandForms シリーズ(Ver.5.14)の主な変更点は以下のとおりです。

詳細は次ページ以降をご参照ください。

新オプション



● 出来形管理オプション(i-Construction 対応)

- ・ ヒートマップを作成し i-Construction に準拠した出来形帳票を作成する機能を追加

バージョンアップ

● GeoForm

- ・ 「設定」と「作業フォルダ選択」機能のアイコン化
- ・ 3D 表示中の IP 入力に対応

● ビデオ鳥瞰

- ・ オブジェクト設定に機能を追加

● 横断計画

- ・ 法勾配が異なる区間の連続補完機能を追加
徐々に勾配を変化させ、法勾配が異なる区間を補完する機能です

● DATA Cleaner

- ・ 円フィルタの端点編集機能追加

● その他不具合修正

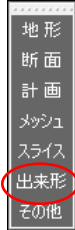
isp

新機能・新要素

● **出来形管理機能を追加**

i-Construction に準拠した出来形帳票を作成する機能を追加しました。

出来高数量を算出・ヒートマップを表示し、帳票用の数値や画像データを作成します。



画面左側のメニューに「出来形」が追加されました。

クリックすると画面右側に出来形管理メニューが表示されます。

基本の操作の流れ

1. 現況地形の観測データおよび計画モデルデータを用意します。
2. 上記で作成したデータを出来形管理表ダイアログで読み込みます。
3. 各設定を登録して出来形判定を行い、管理図表データを作成します。
 - ①判定方法、規格値を登録します。
 - ②天端線、法線、小段線を登録します。登録時に参照できるファイルは以下のとおりです。
 - ・ LandForms の計画機能で作成したパラメータファイル
 - ・ 平面図 DXF
 - ・ 他社ソフトで作成したデータ
4. 出来形合否判定総括表を作成します。

作業イメージ

<p style="text-align: center;">出来形管理表ダイアログにデータを読み込む</p>	<p style="text-align: center;">天端・法面を登録する</p>
<p style="text-align: center;">出来形判定を行い出来形管理図表データを作成</p>	<p style="text-align: center;">出来形合否判定総括表を作成</p>

詳細は別紙を参照してください。

追加・変更・修正

追加

● 共通

- 48bit カラーのデータの取り込みに対応(DATA Cleaner、XYZ-MESH)

● GeoForm

- ツールバーに「設定」「作業フォルダ指定」のアイコンを追加



: 設定ダイアログ(パラメータ設定、色設定、保存確認メッセージ)を開きます

: 作業フォルダを指定するダイアログを開きます

- 「作業フォルダ指定」

フォルダの指定ダイアログに、フォルダのパスを直接指定する入力欄を追加

- 「路線一覧」

「点名変更」「幅杭変更」の機能を追加しました。

No	点名	追加距離	中心X	中心Y	左X	左Y	右X	右Y
1	BP	0.0000	-60721.08800	-55579.84730	-60591.57252	-55574.36556	-60750.56348	-55585.32504
2	NO1	4.0000	-60721.79850	-55575.91457	-60692.20302	-55570.43583	-60751.23998	-55581.39330
3	NO2	8.0000	-60722.52900	-55571.98184	-60693.03351	-55566.50310	-60752.02448	-55577.44057
4	NO3	12.0000	-60723.26949	-55568.04911	-60693.87441	-55562.57657	-60752.79499	-55569.52734
5	NO4	16.0000	-60723.98999	-55564.11538	-60694.72491	-55558.65106	-60753.58051	-55565.61411
6	NO5	20.0000	-60724.72049	-55560.18165	-60695.57541	-55554.72656	-60754.36602	-55561.70088
7	NO6	24.0000	-60725.45099	-55556.24792	-60696.42591	-55550.80201	-60755.15153	-55557.78765
8	NO7	28.0000	-60726.18149	-55552.31423	-60697.27641	-55546.87746	-60755.93704	-55553.87442
9	NO8	32.0000	-60726.91199	-55548.38054	-60698.12691	-55542.95291	-60756.72255	-55549.96119
10	NO9	36.0000	-60727.64249	-55544.44685	-60698.97741	-55539.02836	-60757.50806	-55546.04796
11	NO10	40.0000	-60728.37299	-55540.51316	-60699.82791	-55535.10381	-60758.29357	-55542.13473
12	NO11	44.0000	-60729.10349	-55536.57947	-60699.67841	-55531.17926	-60759.07908	-55538.22150
13	NO12	48.0000	-60729.83399	-55532.64578	-60700.52891	-55527.25471	-60759.86459	-55534.30827
14	NO13	52.0000	-60730.56449	-55528.71209	-60701.37941	-55523.33016	-60760.65010	-55530.39504
15	NO14	56.0000	-60731.29499	-55524.77840	-60702.22991	-55519.40561	-60761.43561	-55526.48181
16	NO15	60.0000	-60732.02549	-55520.84471	-60703.08041	-55515.48106	-60762.22112	-55522.56858
17	NO16	64.0000	-60732.75599	-55516.91102	-60703.93091	-55511.55651	-60763.00663	-55518.65535
18	NO17	68.0000	-60733.48649	-55512.97733	-60704.78141	-55511.44447	-60763.79214	-55514.74212

点名変更

LandFormsの「路線計算」で作成した路線データのNo杭・プラス杭の測点名を一括変更します。

幅杭変更

路線横断測点の左右の座標を幅指定で変更、もしくはランダム点外周の交点座標を算出し変更します。

点名変更の操作

点名変更

文字: NO NO杭変更

番号間隔: 4,000 プラス杭変更

開始番号: 1 NO追加

追加距離: 0,000 追加距離

点名変更ボタンをクリックすると、左のダイアログが開きます。
変更したい箇所を編集し、適用ボタンをクリックします。
各要素の変更方法については、下記の例を参照してください。

「路線計算」を行った状態

点名	追加距離
BP	0.00000
NO1	5.00000
NO2	10.00000
NO3	15.00000
NO4	20.00000
NO5	25.00000
NO6	30.00000
NO7	35.00000
NO8	40.00000
NO9	45.00000
NO10	50.00000
NO11	55.00000
NO12	60.00000
NO13	65.00000
NO14	70.00000

点名	追加距離	中心X	中心Y	左X	左Y
BP	0.00000	-46161.29545	-4819.18413	-46111.36107	-4816.62399
NO1	5.00000	-46161.55152	-4814.19069	-46111.61714	-4811.62995
NO2	10.00000	-46161.80760	-4809.19725	-46111.87321	-4806.63652
NO3	15.00000	-46162.06367	-4804.20382	-46112.12929	-4801.64308
NO4	20.00000	-46162.31974	-4799.21038	-46112.38536	-4796.64964
NO5	25.00000	-46162.57582	-4794.21694	-46112.64144	-4791.65620
NO6	30.00000	-46162.83189	-4789.22350	-46112.89751	-4786.66276
NO7	35.00000	-46163.08797	-4784.23006	-46113.15358	-4781.66932
NO8	40.00000	-46163.34404	-4779.23662	-46113.40965	-4776.67588
NO9	45.00000	-46163.60012	-4774.24318	-46113.66572	-4771.68244
NO10	50.00000	-46163.85619	-4769.24974	-46113.92179	-4766.68900
NO11	55.00000	-46164.11227	-4764.25630	-46114.17786	-4761.69556
NO12	60.00000	-46164.36834	-4759.26286	-46114.43393	-4756.70212
NO13	65.00000	-46164.62442	-4754.26942	-46114.69000	-4751.70868
NO14	70.00000	-46164.88049	-4749.27598	-46114.94607	-4746.71524

→

点名	追加距離	中心X	中心Y	左X	左Y
BP	0.00000	-46161.29545	-4819.18413	-46111.36107	-4816.62399
Sta#-5.0	5.00000	-46161.55152	-4814.19069	-46111.61714	-4811.62995
Sta#-10.0	10.00000	-46161.80760	-4809.19725	-46111.87321	-4806.63652
Sta#-15.0	15.00000	-46162.06367	-4804.20382	-46112.12929	-4801.64308
Sta#-20.0	20.00000	-46162.31974	-4799.21038	-46112.38536	-4796.64964
Sta#-25.0	25.00000	-46162.57582	-4794.21694	-46112.64144	-4791.65620
Sta#-30.0	30.00000	-46162.83189	-4789.22350	-46112.89751	-4786.66276
Sta#-35.0	35.00000	-46163.08797	-4784.23006	-46113.15358	-4781.66932
Sta#-40.0	40.00000	-46163.34404	-4779.23662	-46113.40965	-4776.67588
Sta#-45.0	45.00000	-46163.60012	-4774.24318	-46113.66572	-4771.68244
Sta#-50.0	50.00000	-46163.85619	-4769.24974	-46113.92179	-4766.68900
Sta#-55.0	55.00000	-46164.11227	-4764.25630	-46114.17786	-4761.69556
Sta#-60.0	60.00000	-46164.36834	-4759.26286	-46114.43393	-4756.70212
Sta#-65.0	65.00000	-46164.62442	-4754.26942	-46114.69000	-4751.70868
Sta#-70.0	70.00000	-46164.88049	-4749.27598	-46114.94607	-4746.71524
Sta#-75.0	75.00000	-46165.13656	-4744.28254	-46115.20214	-4741.72180
Sta#-80.0	80.00000	-46165.39264	-4739.28910	-46115.45821	-4736.72836
Sta#-85.0	85.00000	-46165.64871	-4734.29566	-46115.71428	-4731.73492
Sta#-90.0	90.00000	-46165.90479	-4729.30222	-46115.97035	-4726.74148
Sta#-95.0	95.00000	-46166.16086	-4724.30878	-46116.22642	-4721.74804
Sta#-100.0	100.00000	-46166.41694	-4719.31534	-46116.48249	-4716.75460
Sta#-105.0	105.00000	-46166.67301	-4714.32190	-46116.73856	-4711.76116
Sta#-110.0	110.00000	-46166.92909	-4709.32846	-46116.99463	-4706.76772

点名	追加距離
BP	0.00000
+12.524	12.52400
+32.524	32.52400
+52.524	52.52400
+72.524	72.52400
+92.524	92.52400
+112.524	112.52400
+132.524	132.52400
+152.524	152.52400
BC1	159.76430
+172.524	172.52400
EC1	181.93012
+192.524	192.52400
+212.524	212.52400
+232.524	232.52400
+252.524	252.52400
+272.524	272.52400
+292.524	292.52400
+312.524	312.52400
+332.524	332.52400
+352.524	352.52400
+372.524	372.52400
+392.524	392.52400
+412.524	412.52400

「プラス杭」でブレーキのNo 杭追加距離を入力し、「路線計算」を行った状態

点名	追加距離	中心X	中心Y	左X	右Y
BP	0.00000	266088.54282	6482.60722	266063.81605	64
No1	12.52400	266091.57924	6493.01311	266056.84697	64
No2	25.04800	266070.44408	6509.63062	266045.51781	64
No3	37.57200	266053.21497	6526.24814	266034.20865	64
No4	50.09600				
No5	62.62000				
No6	75.14400				
No7	87.66800				
No8	100.19200				
No9	112.71600				
No10	125.24000				
No11	137.76400				
No12	150.28800				
No13	162.81200				
No14	175.33600				
No15	187.86000				
No16	200.38400				
No17	212.90800				
No18	225.43200				
No19	237.95600				
No20	250.48000				
No21	263.00400				

点名変更

文字: No

番号間隔: 20.000

開始番号: 1

追加距離: 12.524

NO杭変更

プラス杭変更

NO追加

追加距離

適用 閉じる

リストの点名が変更されました。

文字: No
番号間隔: 20.000
追加距離: 12.524
(↑ブレーキ No 杭の先頭距離)
上記の設定でプラス杭変更の「NO追加」にチェックを入れると左のように変更されます。

幅杭変更の操作

幅杭変更

幅変更

左 外周交点 右

30.000 30.000

適用 閉じる

幅杭変更ボタンをクリックすると、左のダイアログが開きます。
変更したい箇所を編集し、適用ボタンをクリックします。
各要素の変更方法については、下記の例を参照してください。

左・右の数値を指定すると、横断幅が変更されます。
行を指定している場合はその行の横断測点のみが変更されます。
指定していない場合は全ての横断測点が変わります。

外周交点を指定すると、外周までの横断幅に変更されます。

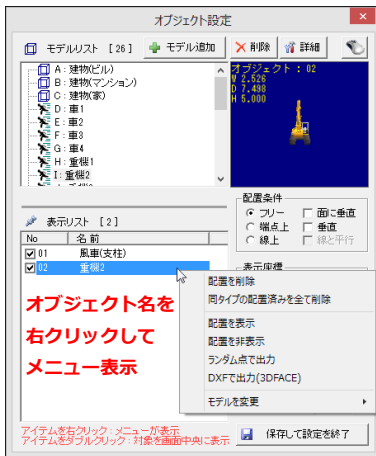
- ・「ランダムデータ外部出力」
三角網を X ファイル形式で出力できる「Microsoft DirectX 形式 出力」機能を追加
- ・「ファイル」→「メッシュ」→「メッシュ土量クリップボード出力」
メッシュ座標が 20000 点以上になる場合はファイル保存選択を表示

● **ビデオ鳥瞰**

- ・「オブジェクト設定」
以下の機能を追加しました。

配置オブジェクトの出力機能

配置オブジェクト(X ファイル)の「ランダム点で出力」「DXF で出力(3DFACE)」機能を追加



表示リストのオブジェクト名を右クリックするとメニューが表示されます。
該当項目をクリックし、保存先を選択すると保存されます。

「ランダム点で出力」

配置したオブジェクトをランダム点(RND)と三角網(TIN)のデータとして出力します。

「DXF で出力(3DFACE)」

配置したオブジェクトを DXF データとして出力します。

※複数のオブジェクトを選択して出力すると、一つのファイルとして出力されます。

※VX ファイルのオブジェクトは出力できません。

	一つのオブジェクトを選択して出力	複数のオブジェクトを選択して出力
出力する オブジェクトの 選択		
ランダム点と 三角網データの 読み込み例		
DXF データの 読み込み例		

配置条件

オブジェクト配置時に条件を指定して配置します。

※下の図解はオブジェクトの不透過率を下げ、ワイヤーフレームで表示しています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・フリー 任意の位置に配置します。 		<ul style="list-style-type: none"> ・面に垂直 面に対して垂直に設置します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・端点上 近くに端点要素がある場合、中心を端点上に配置します。 		<ul style="list-style-type: none"> ・垂直 初めにモデルに設定しと垂直方向に接地します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・線上 近くに線要素がある場合、中心を線上に配置します。 		<ul style="list-style-type: none"> ・線と平行 線要素と平行に設置します。※線上配置の場合のみ

高さ強調有効

「座標設定」で高さ強調を行う際に、配置したオブジェクトにも適用するかどうかを設定します。



高さ強調：1倍



高さ強調：3倍

不透過率

オブジェクトの不透過率を設定します。



不透過率：100%



不透過率：50%

・「面設定」

テキストチャートとして使用可能な形式を追加 モノクロ BMP、TIFF、PNG、GIF 形式

● 横断テキスト

- ・「横断測点→縦断出力」

横断データの指定した横断位置の標高値を計算して縦断データとして出力できる機能を追加
(「ファイル」→「横断測点→縦断出力」)

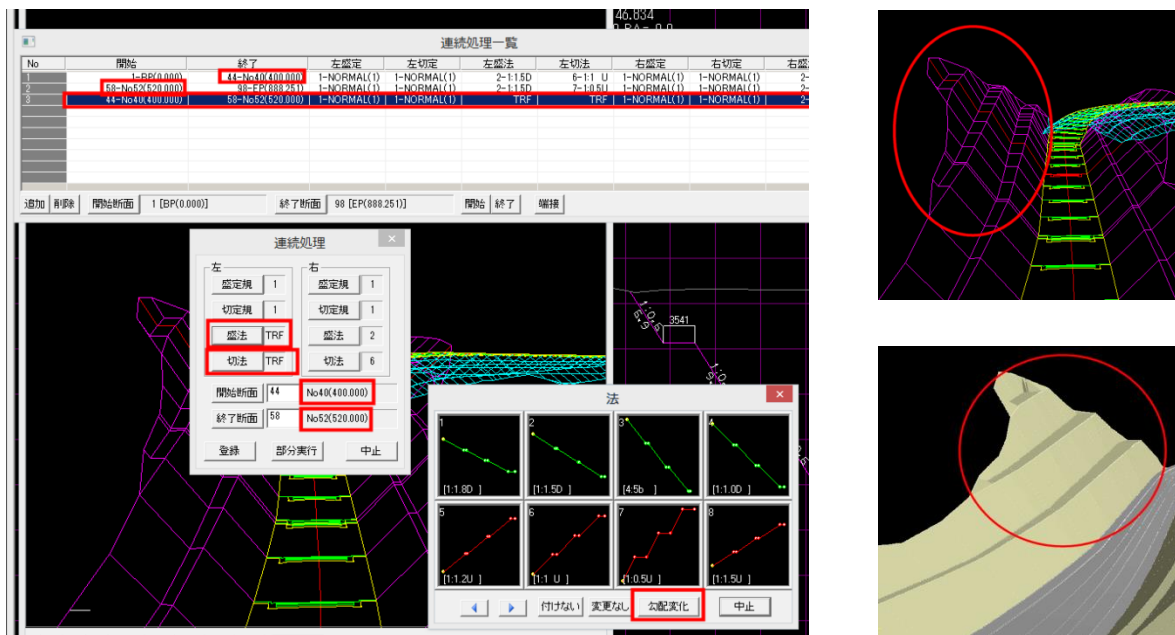
● 横断計画

- ・「連続処理」の法指定・定規図指定に「変更なし」を追加

一度連続処理済みの区間を再計算する際に変更なしに指定すると、その区間は法・定規の変更を行わず、前の結果が保持されます。

- ・「連続処理」の法指定に「勾配変化」を追加

勾配が異なる2つの区間がある場合、その2区間の間の勾配を計算する際に指定します。



- 1.一つ目の区間の連続処理設定を登録します。(上図連続処理一覧の No.1 の行、断面 1 から 44 の区間)
- 2.一つ目の区間と異なる勾配の区間の連続処理設定を登録します。(同じく No.2 の行、断面 58 から 98 の区間)
- 3.二つの区間の間の連続処理設定を登録します。(同じく No.3 の行、断面 44 から 58 の区間)

この時、勾配変化をさせる要素(上図の場合は左盛法・切法)の指定の際に「勾配変化」をクリックします。

勾配変化を指定した要素の表示は TRF となります。

※勾配変化区間の開始断面と終了断面は、以下のとおりになります。また、それぞれの横断に勾配の違う法が登録されている必要があります。

開始断面：前区間の法を登録した最後尾の断面番号 終了断面：後区間の法を登録した先頭の断面番号

- 4.連続処理を開始します。2つの区間の勾配は、前後の勾配に合わせて徐々に変化するように計算されます。

● TIN 変換

- ・高さ誤差の指定に「誤差判定なし」を追加

建物などのモデルを読み込む際に、誤差判定を行うと壁面が欠落することがあります。その場合は「誤差判定なし」で読み込みを行ってください。なお「誤差判定なし」で変換すると土台面は作成されません。

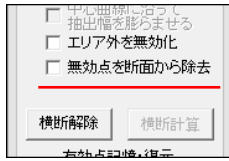
● XYZ-MESH

- ・カスタムテキスト読込に対応

● DATA Cleaner

・「エリア設定」

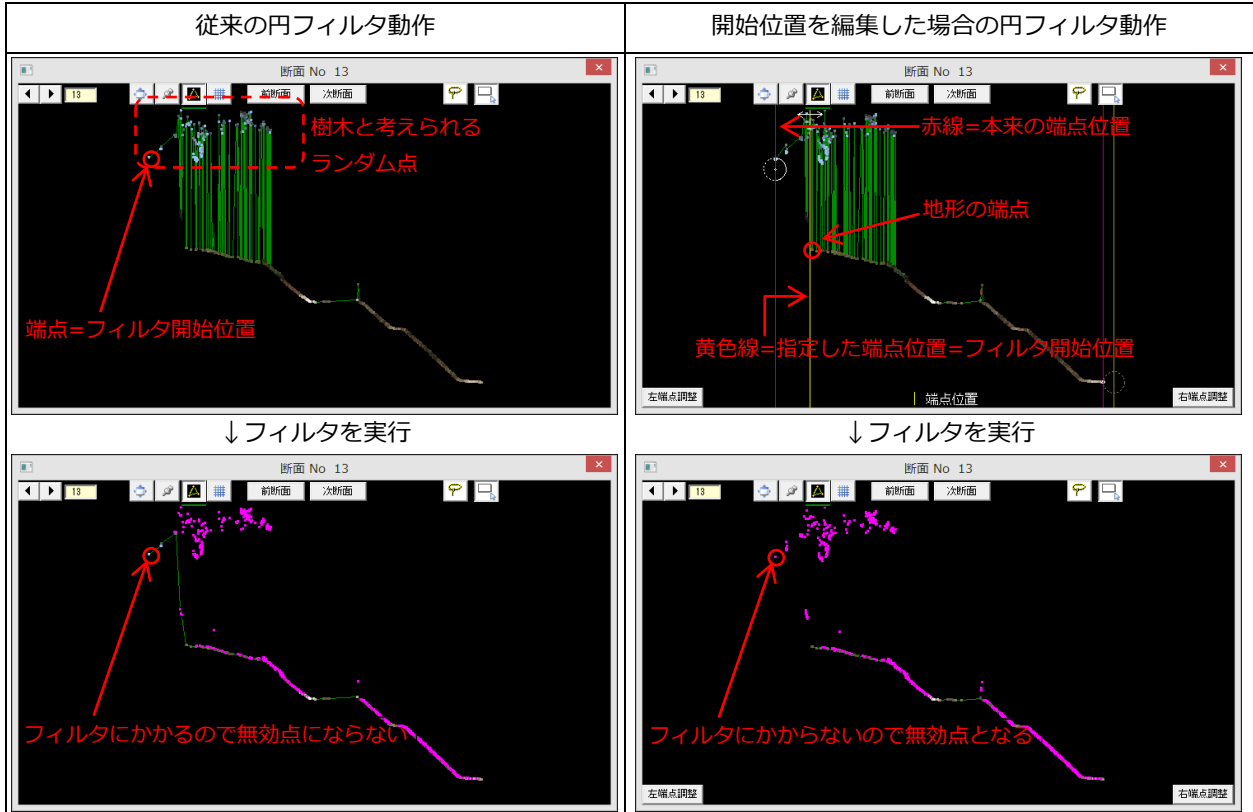
横断計算時に無効点を除去せず計算に含めることが可能になりました



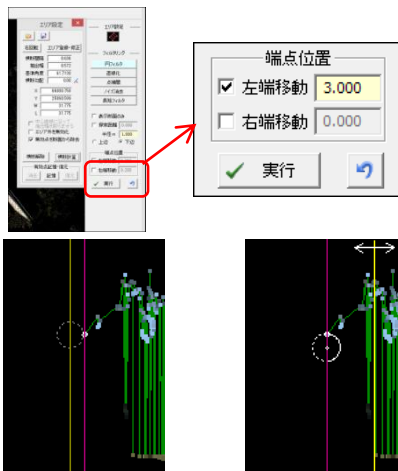
従来は横断計算を行った際、既存の無効点は断面から除外されていました。
新しい項目「無効点を断面から除去」のチェックを外して横断計算を行うと、無効点を含めて計算・表示します。

・「円フィルタ」

フィルタ開始位置の端点編集機能を追加



フィルタ開始位置を編集する



端点移動なし
最も端の点から
フィルタ適用

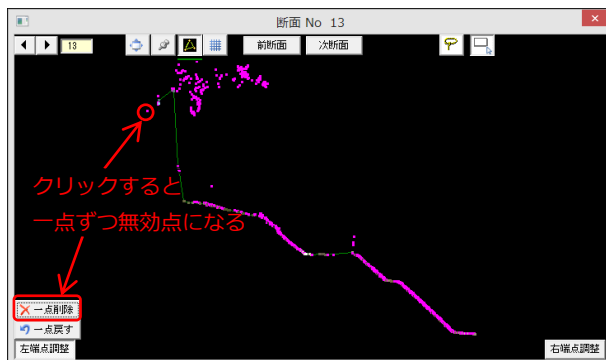
端点移動あり
黄色の線から外側は
すべて無効点

1. あらかじめ、エリア設定・横断計算を行い、「断面」ダイアログを表示させておきます。
※端点位置(赤・黄色の線)が表示されていない場合は、マウスのホイールボタンをクリックすると表示されます。
2. 画面右側メニューの端点位置で、移動させたい側をチェックし、移動距離を入力します。ダイアログ上の黄色の線が距離に合わせて移動するので調整します。
※開始位置の端点編集はすべての断面に適用されます。
3. 実行 をクリックすると、フィルタが適用されます。
 をクリックするとフィルタ適用前に戻ります。

断面ごとに端点を編集する



↓一点削除



断面ごとに端点を編集する場合は、**左端点調整** または **右端点調整** で調整します。

一点削除 をクリックすると、フィルタ適用後の有効点を端から一つずつ無効点に変更します。

一点戻す をクリックすると、**一点削除** で無効にした点を一点ずつ有効点へ戻します。

また、円フィルタ機能の一部であるため、円フィルタの **一点戻す** をクリックしても元に戻りますのでご注意ください。

フィルタ開始位置の編集を行うと、すべての断面の開始位置が変更となります。

一部の断面のみ編集する場合は端点調整で対応します。

変更
● **共通**

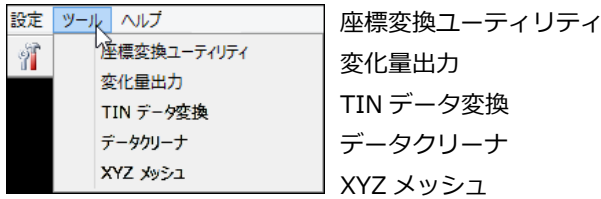
- 点名「_C」のついたランダム点を大量に含むデータの処理速度の改善(鳥瞰図・ビデオ鳥瞰共通)

● **GeoForm**

- メニューバーの内容区分を変更

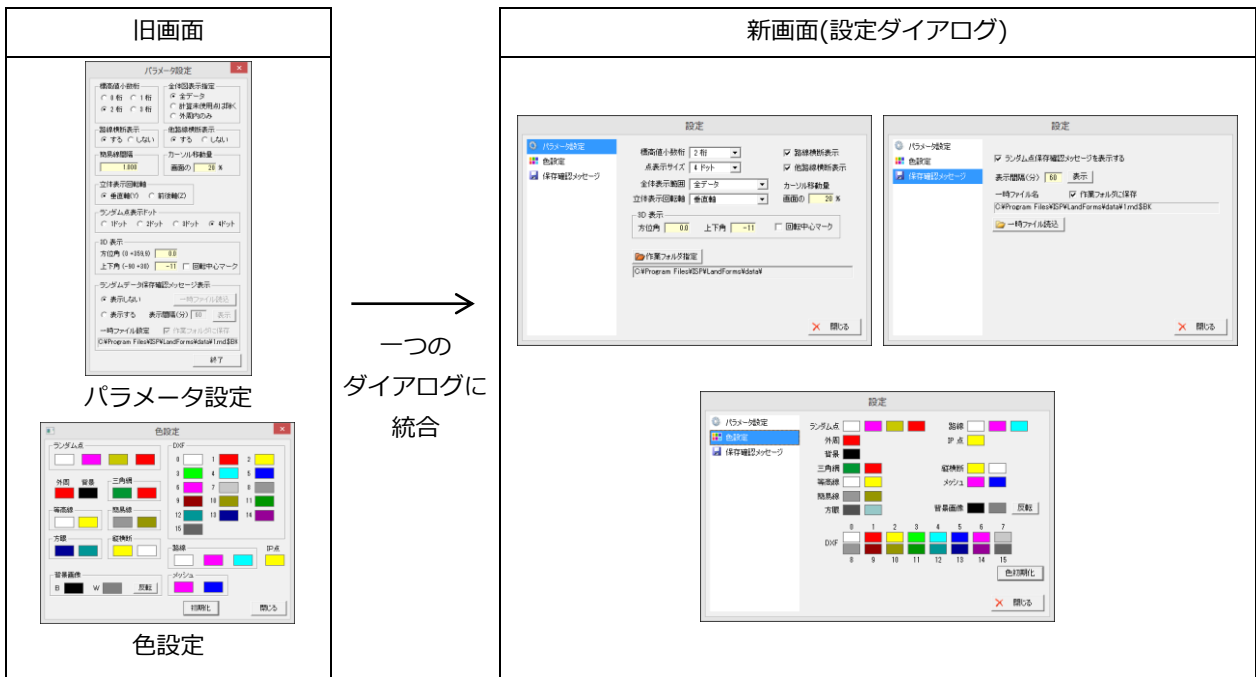
「設定」メニュー内の一部の機能を新設の「ツール」メニュー内に移動し、パラメータ設定と色設定を一つのダイアログにまとめました。

「ツール」メニュー内に移動した機能



設定ダイアログの変更と統合

「設定」メニューをクリックすると直接設定ダイアログが表示されます。



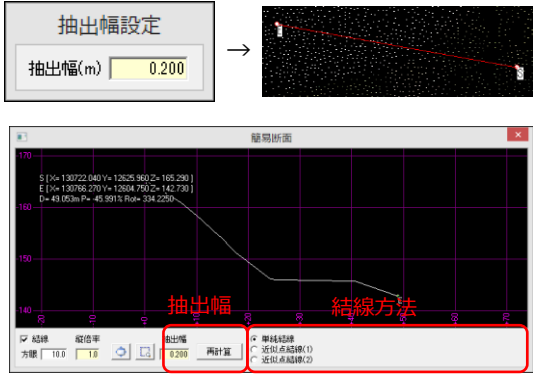
- 「IP 入力」
3D 表示中でも端点(DXF)とランダム点を参照して IP 点の入力が可能になります。
- 「ランダムデータ外部出力」
STL 形式出力時に土台面(外周に沿う垂直面)を付けて出力するか選択肢を表示(ファイル名入力後)
- 「段彩表示」 縞段彩の配色ボタンをアイコンへ変更



左から、青赤階調・白黒階調・緑階調・赤階調・地図階調・ヒートマップ
各アイコンにマウスカーソルを載せると階調名が表示されます。

・「簡易断面」

三角網計算を行っていない場合の簡易断面ダイアログと操作手順を変更



1. 抽出幅を設定します。
※抽出幅：2点間を直線で結んだとき、2点間上とみなす幅
2. 断面を切る2点をそれぞれクリックします。
3. 「簡易断面」ダイアログが表示されます。
条件を変えるとダイアログ上の簡易断面に反映されます。
続けて違う個所の簡易断面を表示させる場合は、ダイアログは閉じずに、新たに2点をクリックします。

抽出幅を変更する



抽出幅の数値を入力し、「Enter」キーを押すか再計算ボタンをクリックすると、新たな抽出幅で断面を計算します。抽出幅の数値を変更したのに再計算がされていない場合は、再計算ボタンの色が変わります。

結線方法を変更する

結線方法を選択するとダイアログ上の断面に反映されます。※再計算は必要ありません。

従来のチェック方法	対応する結線方法	主な使用場面
	<input checked="" type="radio"/> 単純結線 [単純結線] <input type="radio"/> 近似点結線(1) 始点から断面水平距離順に結線(全点結線) <input type="radio"/> 近似点結線(2)	<p>地形</p>
	<input type="radio"/> 単純結線 [近似点結線(1)] <input checked="" type="radio"/> 近似点結線(1) 始点から断面距離の近い点順(終点を含まず)に結線 <input type="radio"/> 近似点結線(2) (部分結線)	<p>構造物 (トンネルなど)</p>
	<input type="radio"/> 単純結線 [近似点結線(2)] <input type="radio"/> 近似点結線(1) 始点から断面距離の近い点順(終点を含まない)に結線、 <input checked="" type="radio"/> 近似点結線(2) 最後に終点と結線(全点結線)	<p>構造物 (トンネルなど)</p>

● **ビデオ鳥瞰**

- ・「ルートファイルを開く」
ルートファイル選択後「走行設定」ダイアログが表示されるようになりました。また「走行設定」ダイアログ表示中は「ルートファイルを開く」メニューが選択できなくなります。

● **横断計画**

- ・「ランダムデータ出力」
間隔指定の小数桁を1桁から2桁に拡張
- ・「比較用横断データ読込」
横断中心有効の場合、FHの値を読み込んだ横断中心標高とする

● **XYZ-MESH**

- ・扱える点数の上限値(20億点)を設定

修正**● 共通**

- ・色付きランダム点が 4096 点以下だと正しい表示ができない場合がある(鳥瞰図・ビデオ鳥瞰)

● GeoForm

- ・「外部データ読込」
LandXML 形式のファイルを読み込む際に要素名に重複があると同名の最後の要素しか読み込めない
- ・「LandXML 形式 (xml) 出力」
中抜面を出力する際に面インデックスがマイナスの値で出力される
- ・DXF の文字列で全角文字が文字化けする場合がある
- ・「DXF 座標情報」
標高値を一括登録する際に標高値欄に小数値が入力できない
- ・「一括編集」
多角形の平面選択で「Shift」キーを押しながら登録するとダイアログが表示されない
- ・「スライス数量」→「面積計算」
ランダム点数が 2000 点未満の場合、等高線が計算されず面積値が 0.0 となる

● ビデオ鳥瞰

- ・「計画データ追加読み込み」
計画データを読み込むと点群データが消えることがある
- ・「面設定」
テキストチャ登録でフォルダの違う画像ファイルを読み込んだ際、位置情報ファイルが読み込まれない
ワールドファイル(bpw、jgw、tfw、pgw)が読み込まれない
- ・読み込んでいる RND ファイルのサイズより大きいサイズの X ファイルを配置すると表示が欠ける
- ・「配布用データセット作成」
複数の RUT ファイルを含むデータセットを作成しようとする、一つの RUT ファイルの内容しか含まれないセットが作成される
- ・「表示詳細設定」
霧の濃さスクロールバーの右ボタンが動作しない

● 横断テキスト

- ・貼付で 3000 点以上の点を取り込むと強制終了する
- ・ODN ファイル読み込み時に無効情報がずれて表示される

● 横断計画

- ・「ランダムデータ出力」
造成用補助測点作成機能を使用して作成した線形データを出力すると補助側線の点が出力されない
造成用補助測点を含むデータで行うと拡張部分に余分な点が出力される
- ・「法座標」
新規入力時に入力制限がかかる
- ・「比較用横断データ読込」
横断中心有効状態でも無効とみなされ垂直線が作成される
垂直線作成時、距離が 1mm 以下だと垂直線が作成されず「土量計算」で面積値が 0.0 になる
- ・「路線立体表示」
BP マイナス測点を含むデータが正しく表示されない

- **等高線作画**

- ・ 「DXF ファイル作成」
メッシュ間隔が短く文字が小さい場合、文字の位置がずれる

- **縦断面**

- ・ 「DXF 出力」
縦断面の縦断面区切り線表記で追加距離に端数のある測点の位置がずれる

- **メッシュグラフ**

- ・ 1 メッシュの中に 64 点以上の外周点があるデータを読み込むと強制終了する
- ・ BMP ファイルの画像位置情報ファイル(MPI ファイル)が異なる座標で作成される

- **変化量出力**

- ・ ファイル名に「.」(ピリオド)が入っていると、ファイル名を正しく読み取れない

- **DATA Cleaner**

- ・ 高解像度の表示環境でツールバーが隠れてしまう

- **XYZ-MESH**

- ・ 「データ読込」
「取り込み設定」ダイアログのメッシュ分解距離の初期値に関する不具合
「取り込み設定」ダイアログの最大読込点数にマイナス値が出る

- **GeoView**

- ・ テキストフラグのリンク機能が動作しない場合がある